

2023年8月24日(木)  
愛知県企業庁水道部水道事業課  
業務・送水グループ  
担当 松尾、伊藤  
内線 5642、5644  
ダイヤル 052-954-6681

## 2023年度愛知県営水道地震防災訓練の実施について

愛知県営水道は、1962年に給水開始し、現在は名古屋市とその周辺の一部及び北設楽郡を除く49市町村（42団体）の水道水の約7割を供給しています。

愛知県企業庁では、「愛知県営水道地震防災対策実施計画」\*に基づき、地震に強い愛知県営水道づくりを目指して、施設の耐震化などのハード対策や防災訓練などのソフト対策を進めています。

この度、2023年8月30日（水）から9月5日（火）までの防災週間を中心に、南海トラフ地震の発生を想定した地震防災訓練として、企業庁災害対策本部と水道事務所等の間で「情報伝達訓練及び現場訓練」と水道事業者（田原市）との共同で実施する「応急給水訓練」を下記のとおり行います。

※ 「愛知県営水道地震防災対策実施計画」は、2003年に策定し、2015年に南海トラフ地震を想定に加え計画を見直しました。現在は、この計画に基づき、既存施設の耐震化やバックアップ施設の整備等を進めるとともに、資機材の備蓄や防災訓練を実施しています。

### 記

#### 1 情報伝達訓練及び現場訓練

(1) 日 時 2023年9月1日（金）午前9時から午前11時20分まで

(2) 場 所 県企業庁 愛知県自治センター11階 及び水道事務所等

(3) 参加機関等 企業庁災害対策本部 企業庁長以下 約30人

水道事務所等 約250人

公益財団法人愛知水と緑の公社職員 約10人

(4) 訓練内容 南海トラフでのプレート型地震の発生を想定し、企業庁災害対策本部を設置の上、水道事務所等との水道及び工業用水道の災害に関する情報伝達訓練を行います。

水道事務所等においては、給水用車両に水道水を積み込むなど現場訓練を行います。

## 水道事務所等一覧

名 称	所 在 地
愛知用水水道事務所	東海市大田町下浜田164-5
上野浄水場	東海市名和町蕨山7
知多浄水場	知多市佐布里字西池の脇8
愛知用水水道事務所尾張旭出張所	尾張旭市旭ヶ丘町森35
高蔵寺浄水場	春日井市高森台1-10
尾張東部浄水場	日進市米野木町南山489-4
尾張水道事務所	一宮市昭和3-3-28
犬山浄水場	犬山市大字犬山字東洞15
尾張西部浄水場	稲沢市祖父江町祖父江柳原86
西三河水道事務所	安城市住吉町茅原8-2
豊田浄水場	豊田市浄水町原山62
幸田浄水場	額田郡幸田町大字坂崎字楠木23-4
安城浄水場	安城市福釜町道田44
東三河水道事務所	豊橋市東小鷹野2-9-1
豊橋浄水場	同 上
豊橋南部浄水場	豊橋市老津町字南山田1
豊川浄水場	豊川市平尾町五反田26-30
水質試験所	愛知郡東郷町大字諸輪字北木戸西48-265

## 2 応急給水訓練（田原市と県企業庁との共同現地訓練）

(1) 日 時 2023年8月26日（土）午前7時から午前8時まで

(2) 場 所 赤羽根広域調整池（田原市高松町尾村崎<sup>たかまつちょう おむらざき</sup>）

(3) 参加機関等 田原市住民 30人程度 企業庁職員 5人程度

田原市職員 5人程度 田原市上下水道工事業協同組合 5人程度  
給水車 1台

(4) 訓練内容 県企業庁が設置した赤羽根広域調整池（別紙、別図参照）に貯留した水道水を給水車へ積み込むとともに、地元住民の方々に対する応急給水訓練を行います。

※当日は、近隣の赤羽根文化広場で市の総合防災訓練が開催されています。



【現場訓練の状況（緊急遮断弁設定確認）】



【応急給水訓練の状況（昨年度）】

## 広域調整池とは

広域調整池は、地震災害時などの非常事態でも、市町村の配水池などの容量と合わせ1人当たり180リットルの水道水を確保するための緊急貯水槽の役割を担うものです。

赤羽根広域調整池は、直径20.0m、有効水深6.80m、有効貯水容量2,100m<sup>3</sup>の円筒状のタンクで、2007年に供用開始しました。

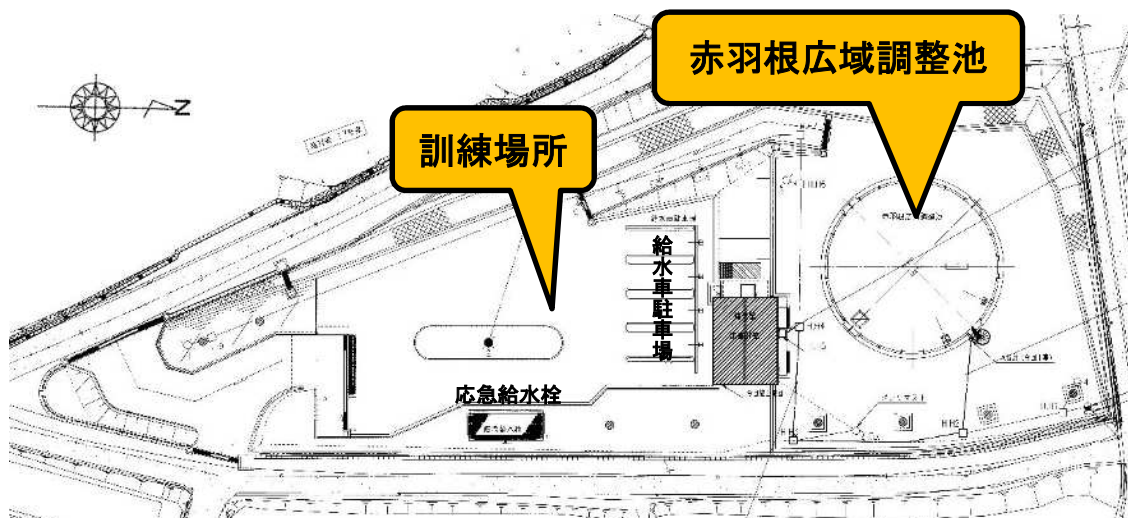


赤羽根広域調整池



給水車駐車場

応急給水栓



赤羽根広域調整池

訓練場所

応急給水栓

給水車  
駐車場

平面図



# 応急給水訓練 位置図



※ 背景地図は、国土地理院の地理院地図を使用